

明照園だより

8月号

社会福祉法人明照園
天草市久玉町 1273-1
電話番号 0969-73-3245
FAX : 0969-73-3307



★養護老人ホーム
★特別養護老人ホーム
★ユニットサービスセンター
★ショートステイ
★デイサービスセンター
★ヘルパーステーション
★居宅支援事業所 とも生き

養護の畑で出来たスイカです

8月 の行事予定

全 体

15日…お盆・精霊船流し
27日…セレクトメニュー

毎週金曜日…回診

養 護

6・13・27日…踊りの練習

10日…お菓子作り

9日・23日…踊りの練習

19日…誕生会

20日…ドライブ

25日…そうめんの日

特 養

5日・29日…輪投げ

12日…誕生会

19日…紙芝居

26日…音楽体操

22日…ボーリング

ユ ニ ッ プ

輪投げ・風船バレー

ボーリング・外気浴

脳トレーニング

牛乳パック積み・塗り絵

映写会・折り紙

旗揚げゲーム

風船バレー

デ イ サ ー ビ ス

ゲーム・夏の海を見よう
(野外ドライブ)

冷やし素麺・読み聞かせ

踊り発表会・映写会・工作

誕生会・夏バテ防止体操

甘味処



特別養護老人ホーム

特養多床室では、七夕作りと同時にホールにてスイカ割り大会を開催しました。ブルーシートの上に大きなスイカを置き職員の誘導のもとスイカめがけて棒を振り下ろしますが、中々スイカに当たらず

(庵本)

飾り付けが終わると、皆さんお楽しみのスイカ割りをしました。タオルで目隠しをし新聞紙を丸めて作った棒を手に前へ進み、狙いを定め叩いておられました。なかなか割れない「あら~」との声も聞かれ、笑い声も絶えませんでした。その後は皆さんで輪になり風船バレーを楽しめ、美味しそうなスイカを口に上がつておられました

(庵本)

一人おひとりの願い事が書いてあり「美しいものが沢山食べられますように」「お金は持ってるけど、貯まりますように」「家に帰りますように」等色々ありました。

ユーハート型特養では、7月6日に七夕の集いとスイカ割りを行いました。職員が準備した笹に、各ユニットで作った飾りを飾って頂きました。短冊にはお味しいものが沢山食べられますように」「家に帰りますように」等色々ありました。

ユーハート型特養では、ご利用者様が「右、左」と声を掛けて下さり、少しスイカに当たり、「やった」と歓声が上がる瞬間もありました。スイカ割りを楽しんだ後は皆さんでスイカを頂きながら歓談されました。

養護老人ホーム

7月6日、養護老人ホームでも集会室にて七夕の集いを行いました。職員が切つて来た笹に、それぞれの願い事を書いた短冊を付けたり手工芸の時間に作った飾りを付けて軒下に立てる「立派などがけた!」と満足しておられました。そのあとは、恒例のスイカ割り大会を行いました。目隠ししたご利用者様が躊躇かな

(田川)

(庵本)

のあとは、恒例のスイカ割り大会を行いました。目隠ししたご利用者様が躊躇かな拍手と歓声があがつてました。(松中)

(田川)

土用の丑の日



調理 土用の丑の日には、ご利用者様に毎年うなぎを提供しています。今年もうなぎを皆さんに食べて頂きました。うなぎの栄養価は非常に高く、良質なタンパク質以外にビタミン類が豊富に含まれています。うなぎは栄養面が優れているだけでなく、身がやわらかく咀嚼しやすいため食べやすく飲み込みやすいことも高齢者におすすめできる理由です。カルシウムやビタミンDが豊富であることから骨を丈夫にする働きがあり、高齢者に多い骨粗しょう症の予防にもなります。その他にも、血流を促すビタミンE、DHA、EPAが豊富なのも、脳梗塞や心筋梗塞などの病気予防にも役立ちます。



天草では梅雨の合間の晴れた日のことを「はげどん」と言つ、と以前、ご利用者様から教わったことがあります。その当時は雨雲の合間から眩しいお日様が出てくるので「はげどん」なんだろうと勝手に解釈していました。子供の頃、「はげどん」の時は「はげだら」(団子)を祖母が作って、神様や仏様にお供えしてから皆で頂いていた記憶

(岩下)

はげどん



があります。天草で言つ「はげどん」を正式に言えば「半夏生(はんげじょうう)」だそうで、半夏生は農作業の節目の日であり、田植えの終わりを祝う時期を意味します。この日に「はげ団子」を食べて自然の恵みに感謝し疲れを癒す風習があつたそうです。「半夏生」に食べる団子である」とから「はげ団子」と呼ばれ、それがなまつて「はげ団子」になつたとされています。団子の表面に餡がまだにつく様子が「はげている」ように見える」とも名前の中からです。(松中)

やてみよタデイサービスセンタ

では、ご利用日の午後からレクレーションを行います。担当職員が手工芸やゲームなどを計画します。

どんなゲームをしたら盛り上がりそうだかと考えながら準備します。何歳になられても競い合って来られた笹に、それぞれの願い事を書いた短冊を付けたり手工芸の時間に作った飾りを付けて軒下に立てる「立派などがけた!」と満足しておられました。皆さんが一生懸命になられ皆さんで競い合いました。皆さんは手芸の表情が真剣であられます。今回は新

聞紙を使つたゲームを行いました。新聞紙を細く長く手で切つて長さを競うゲームですが、途中でちぎれて一からやり直すのには苦労されましたが、最後まで喜んでおられました。(貝川)